

国際交流基金ケルン日本文化会館 日本語教師研修会 2017 夏

## 「私の日本語・子どもの日本語」

— 国際結婚家庭における選択とアイデンティティ

講師：三宅和子

(東洋大学文学部日本文学文化学科・大学院文学研究科)

日時：2017年 9月9日(土) 10:30~16:45

会場：国際交流基金 ケルン日本文化会館

参加費：無料

- ◇ 親として、子供に日本語を継承させようと思うのはなぜですか。
- ◇ 子供にとって、日本語/日本人/日本文化はどのような意味があるのでしょうか。
- ◇ 日本語が話せることは自己のアイデンティティとどのような関わりがあるのでしょうか。

日本に生まれ欧州に生きる自分と、欧州を越えてグローバルに生きるかもしれない子供の将来と日本語、そしてアイデンティティのあり方について、ワークショップ形式で共に考えていきましょう。

### 講師

**三宅和子** (東洋大学文学部日本文学文化学科・大学院文学研究科教授)

福岡県出身。1981~86年イギリスに在住し日本語教育に携わって以来、日本語教育、社会言語学、日本語学を専門とする。近年「移動とことば研究会」を共催するなど日系ディアスポラの研究に取り組んでいる。『日本語の対人関係把握と配慮言語行動』(ひつじ書房)、『新・わくわく文法リスニング 100』全2巻(凡人社)など著書多数。

会場：ケルン日本文化会館 (Universitätsstraße 98, Köln)

(ケルン中央駅から、路面電車 16 or 18, Neumarkt 駅 乗り換え 路面電車 1 or 7, Universitätsstraße 駅 下車)

→ <http://www.jki.de/jp/home.html>

## プログラム

09:45-	受付開始
10:30-10:40	開会挨拶
10:40-12:30	<第1部>

### ◆ いま、私たちはどのような地点にいるのか

国内・国外の継承語教育の違いを出発点に、海外で日本人として生きる立ち位置の変化を振り返り、これまで強い絆として保たれてきたのは、言語、文化、慣習、食事などのうちどれか、ヨーロッパの文脈で「継承」できるものは何かを考える。

12:30-13:40 昼食 (70分)

13:40-14:50 <第2部>

### ◆ 子育ての中の日本語と親子のきずな

海外に住む日本語を話す親は、なぜ日本語を子どもに継承したいのか。日本語をめぐる親と子の葛藤のインタビューをたどりつつ、ことばとアイデンティティはどのように結びつくかを考えていく。

14:50-15:10 休憩 (20分)



15:10-16:30 <第3部>

### ◆ 欧州に生きる子どもにとっての日本語

家庭で日本語を話さなかった国際結婚の日本人母親(60-70歳代)と、子どもたち(30-40歳代)が日本語を勉強し始めた動機やその後の軌跡を追い、日本語が人生にとって意味をもつ時期やきっかけは様々であること、欧州の文脈では習得も喪失も本人の選択に大きく依存することを考える。

16:30-16:45 質疑/連絡事項/アンケート  
18:00- 懇親会



## 参加申し込み

<https://goo.gl/fWpmb>

〆切：9月3日 (日) 20時

※ メールでの申し込みをご希望の方は 件名を「私の日本語 子どもの日本語」とし、  
course★jki.de へご連絡ください。 (★を@に変えてご送付ください。)